

2013年漁業センサスの調査結果概要

◆漁業センサスとは

漁業センサスは、我が国の漁業の生産構造、就業構造を明らかにするとともに、漁村、水産物流通・加工業等の漁業を取り巻く実態と変化を総合的に把握し、新しい水産基本計画に基づく水産行政施策の企画・立案・推進のための基礎資料を作成し提供することを目的に、5年ごとに行われている。

2013年漁業センサスは漁業経営体（利潤又は生活の資を得るために、生産物を販売することを目的として、海面において水産動植物の採捕又は養殖の事業を営んだ世帯又は事業所）を対象に平成25年11月1日現在で実施された。

◆統計表中の符号の用法は次のとおりである。

「〇」：単位未満

「―」：該当数字なし

「△」：マイナス

調査結果の概要

◆漁業経営体数

（１）総経営体数

平成25年11月1日現在における長崎市の漁業経営体数は626経営体で、前回調査（平成20年調査）に比べ、88経営体（12.3％）減少した。

長崎県全体の経営体数は7,690経営体で、本市はその8.1％を占める。

表1 経営体数の推移

年次	長 崎 市	長 崎 県
平成20年	714	8,849
平成25年	626	7,690
増減率(%)	△ 12.3	△ 13.1

（２）地区別、経営組織別経営体数

地区別にみると、茂木地区が 96 経営体で全体の 15.3%を占めているが、前回に比べ 40 経営体（29.4%）減少している。

経営組織別にみると、個人経営体は 595 経営体で全体の 95.0%を占めているが、前回に比べて 86 経営体（12.6%）減少した。

団体経営体は 31 経営体で、前回から 2 経営体（6.1%）減少した。

表2 地区別経営体数

地区別	平成20年	平成25年	増減数	増減率(%)
総数	714	626	△ 88	△ 12.3
琴海	112	95	△ 17	△ 15.2
外海	42	19	△ 23	△ 54.8
新三重	67	41	△ 26	△ 38.8
福田	40	43	3	7.5
長崎西部	13	8	△ 5	△ 38.5
長崎港	3	8	5	166.7
長崎東部	13	9	△ 4	△ 30.8
深堀	17	20	3	17.6
茂木	136	96	△ 40	△ 29.4
網場	18	10	△ 8	△ 44.4
東長崎	66	80	14	21.2
香焼	12	15	3	25.0
伊王島	26	20	△ 6	△ 23.1
高島	9	9	0	0.0
蚊焼	12	15	3	25.0
為石	22	30	8	36.4
野母崎北部	52	50	△ 2	△ 3.8
野母崎南部	54	58	4	7.4

図1 地区別経営体数の構成比

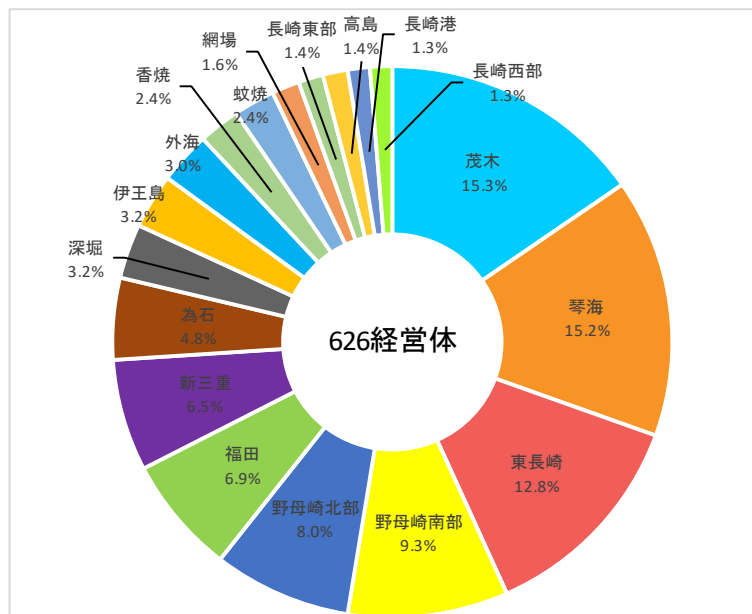


表3 地区別経営組織別経営体数

地区別	総数	個人漁業経営体数			団体漁業経営体数					
		小計	専業	兼業	小計	会社	漁協	生産組合	共同経営	その他
平成20年	714	681	376	305	33	29	—	—	4	—
平成25年	626	595	330	265	31	27	—	—	4	—
琴海	95	87	5	82	8	8	—	—	—	—
外海	19	19	17	2	—	—	—	—	—	—
新三重	41	33	27	6	8	4	—	—	4	—
福田	43	43	15	28	—	—	—	—	—	—
長崎西部	8	7	7	—	1	1	—	—	—	—
長崎港	8	6	1	5	2	2	—	—	—	—
長崎東部	9	8	5	3	1	1	—	—	—	—
深堀	20	20	16	4	—	—	—	—	—	—
茂木	96	96	76	20	—	—	—	—	—	—
網場	10	10	6	4	—	—	—	—	—	—
東長崎	80	74	40	34	6	6	—	—	—	—
香焼	15	15	9	6	—	—	—	—	—	—
伊王島	20	20	8	12	—	—	—	—	—	—
高島	9	8	7	1	1	1	—	—	—	—
蚊焼	15	14	6	8	1	1	—	—	—	—
為石	30	30	15	15	—	—	—	—	—	—
野母崎北部	50	49	36	13	1	1	—	—	—	—
野母崎南部	58	56	34	22	2	2	—	—	—	—

(3) 経営体階層別経営体数

漁業経営体を経営体階層別でみると、構成比に大きな変化はないが前回に比べ、どの階層も減少している。

表4 経営体階層別漁業経営体数

区分	平成20年	平成25年	構 成 比		増減率(%)
			平成20年	平成25年	
漁 業 経 営 体 数	714	626	100.0%	100.0%	△ 12.3
沿 岸 漁 業 層	698	613	97.8%	97.9%	△ 12.2
海 面 養 殖 層	47	41	6.6%	6.5%	△ 12.8
中 小 漁 業 層	15	13	2.1%	2.1%	△ 13.3
大 規 模 漁 業 層	1	－	0.0%	－	△ 100.0

(4) 主とする漁業種類別経営体数

主とする漁業種類別経営体数でみると、はえ縄が 39 経営体（47.0%）、刺網が 35 経営体（26.3%）、底びき網が 18 経営体（11.4%）の減少となっている。

表5 主とする漁業種類別経営体数

経営体階層	経営体数		増減数	増減率(%)
	平成20年	平成25年		
総 数	714	626	△ 88	△ 12.3
底 び き 網	158	140	△ 18	△ 11.4
ま き 網	11	8	△ 3	△ 27.3
刺 網	133	98	△ 35	△ 26.3
小 型 定 置 網	21	24	3	14.3
そ の 他 の 網 漁 業	3	20	17	566.7
は え 縄	83	44	△ 39	△ 47.0
釣	180	169	△ 11	△ 6.1
潜 水 器 漁 業	2	－	△ 2	△ 100.0
採 貝 ・ 採 藻	39	30	△ 9	△ 23.1
そ の 他 の 漁 業	37	52	15	40.5
海 面 養 殖	47	41	△ 6	△ 12.8

(5) 漁獲物・収穫物の販売金額別経営体数

漁獲物・収穫物の販売金額別経営体数をみると、100万円未満の経営体がもっとも多く、次いで100～300万円となっている。

表6 漁獲物・収穫物の販売金額別経営体数

区分	平成20年	平成25年	構 成 比		増減数	増減率(%)
			平成20年	平成25年		
総 数	714	626	100.0%	100.0%	△ 88	△ 12.3
販 売 金 額 な し	3	－	0.4%	0.0%	△ 3	△ 100.0
100 万 円 未 満	286	287	40.1%	45.8%	1	△ 100.0
100 ～ 300	202	208	28.3%	33.2%	6	0.3
300 ～ 500	105	61	14.7%	9.7%	△ 44	△ 41.9
500 ～ 800	46	27	6.4%	4.3%	△ 19	△ 41.3
800 ～ 1,000	23	2	3.2%	0.3%	△ 21	△ 91.3
1,000 ～ 1,500	16	8	2.2%	1.3%	△ 8	△ 50.0
1,500 ～ 2,000	5	2	0.7%	0.3%	△ 3	△ 60.0
2,000 ～ 5,000	2	9	0.3%	1.4%	7	350.0
5,000 万 円 ～ 1 億 円	11	6	1.5%	1.0%	△ 5	△ 45.5
1 億 円 ～ 2 億 円	6	7	0.8%	1.1%	1	16.7
2 億 円 ～ 5 億 円	5	3	0.7%	0.5%	△ 2	△ 40.0
5 億 円 ～ 10 億 円	2	5	0.3%	0.8%	3	150.0
10 億 円 以 上	2	1	0.3%	0.2%	△ 1	△ 50.0

◆漁業就業者数

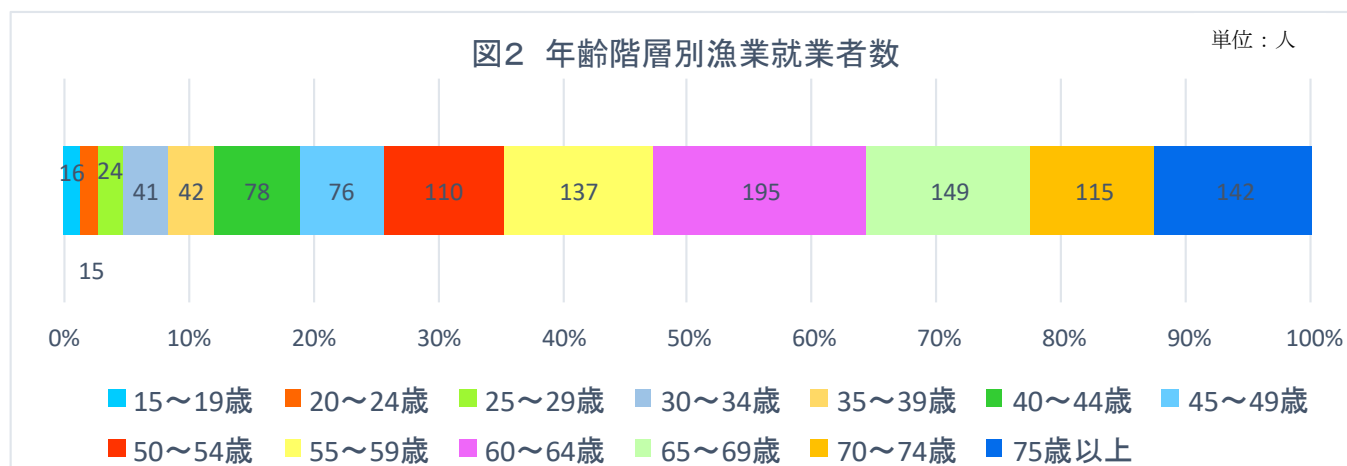
(1) 年齢階層別漁業就業者数

漁業就業者数は 1,140 人で、前回より 220 人（16.2%）減少した。

年齢別でみると、15～19 歳で 13 人、60～64 歳で 12 人、40～44 歳で 10 人の増加となったが、それ以外の区分では減少している。

表7 年齢階層別漁業就業者数

区 分	平成20年	平成25年	構 成 比		増減数	増減率(%)
			平成20年	平成25年		
漁 業 就 業 者 計	1,360	1,140	100.0%	100.0%	△ 220	△ 16.2
15 ～ 19 歳	3	16	0.2%	1.4%	13	433.3
20 ～ 24 歳	17	15	1.3%	1.3%	△ 2	△ 11.8
25 ～ 29 歳	35	24	2.6%	2.1%	△ 11	△ 31.4
30 ～ 34 歳	44	41	3.2%	3.6%	△ 3	△ 6.8
35 ～ 39 歳	66	42	4.9%	3.7%	△ 24	△ 36.4
40 ～ 44 歳	68	78	5.0%	6.8%	10	14.7
45 ～ 49 歳	106	76	7.8%	6.7%	△ 30	△ 28.3
50 ～ 54 歳	140	110	10.3%	9.6%	△ 30	△ 21.4
55 ～ 59 歳	197	137	14.5%	12.0%	△ 60	△ 30.5
60 ～ 64 歳	183	195	13.5%	17.1%	12	6.6
65 ～ 69 歳	195	149	14.3%	13.1%	△ 46	△ 23.6
70 ～ 74 歳	151	115	11.1%	10.1%	△ 36	△ 23.8
75 歳 以 上	155	142	11.4%	12.5%	△ 13	△ 8.4



◆漁船隻数

(1) 漁船隻数・動力漁船トン数規模別隻数

漁船の総隻数は1,021隻で、前回より39隻(3.7%)減少した。

動力種類別でみると、無動力漁船が5隻、船外機付漁船隻数が426隻、動力漁船が590隻となっている。

動力漁船をトン数規模別でみると、3～5トンがもっとも多く297隻、次いで1～3トンが163隻となっている。

表8 漁船隻数・動力漁船トン数規模別隻数

区分	平成20年	平成25年	構 成 比		増減数	増減率(%)
			平成20年	平成25年		
漁 船 総 隻 数	1,060	1,021	100.0%	100.0%	△ 39	△ 3.7
無 動 力 漁 船 隻 数	8	5	0.8%	0.5%	△ 3	△ 37.5
船外機付漁船隻数	367	426	34.6%	41.7%	59	16.1
動 力 漁 船	685	590	64.6%	57.8%	△ 95	△ 13.9
1 ト ン 未 満	50	17	4.7%	1.7%	△ 33	△ 66.0
1 ～ 3	178	163	16.8%	16.0%	△ 15	△ 8.4
3 ～ 5	321	297	30.3%	29.1%	△ 24	△ 7.5
5 ～ 10	60	53	5.7%	5.2%	△ 7	△ 11.7
10 ～ 20	58	45	5.5%	4.4%	△ 13	△ 22.4
20 ～ 30	-	-	-	-	-	-
30 ～ 50	-	-	-	-	-	-
50 ～ 100	3	3	0.3%	0.3%	0	0.0
100 ～ 150	5	3	0.5%	0.3%	△ 2	△ 40.0
150 ～ 200	7	6	0.7%	0.6%	△ 1	△ 14.3
200 ～ 350	3	3	0.3%	0.3%	0	0.0
350 ～ 500	-	-	-	-	-	-
500 ～ 1,000	-	-	-	-	-	-
1,000トン以上	-	-	-	-	-	-

図3 漁船隻数・動力船トン数規模別隻数

単位：隻

